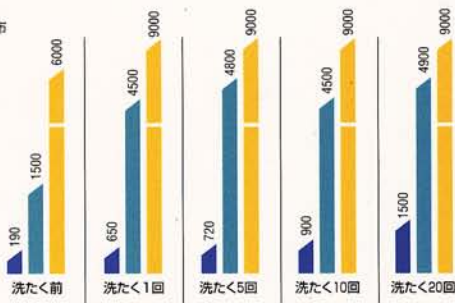


洗濯回数と摩擦帯電圧

■ カネカロン2500毛布
■ 天然繊維
■ 合成繊維

個人差はありますが私達が静電気を感ずるのは1500V～2000V以上とされています。



※試験については当社試験結果に基づいたデータです。

●測定条件 JIS L-109繊維物及び編物の帯電性試験法B法による。(ロータリースタティックテスター法) 湿度40% 温度20℃

●洗濯条件 JIS L-1042-1595 F-1法による。①洗濯 40℃×15分 粉末石ケン ②すすぎ 40℃×5分 ③すすぎ 40℃×10分 ①～③を洗濯1回として1～20回くりかえし。

※但し極端な低温下(天然綿・ワールでも静電気を発生する状態)では、静電気を発生する場合があります。

抗菌・防臭加工

繊維製品には人体に有害な菌が付着する可能性があります。

カネカロン毛布はこうした菌(特に黄色ぶどう球菌)の増殖を抑える加工を施した商品を取り揃えています。また菌の増殖を抑えることにより、臭いの発生も防ぎ清潔さを保ちます。

(清潔な使いごちです。)

静電気防止加工

冬の暖房で室内の空気が乾燥すると、発生しやすくなるのが静電気。

カネカロン毛布は、この不快な静電気の発生を低減する加工を施した商品を取り揃えています。洗濯を重ねても、高い効果を持続します。

(パチパチの不快感を低減します。)

- 試験項目 抗菌性試験
- 試験菌株 黄色ぶどう球菌 Staphylococcus aureus ATCC 6538P
- 試験方法 JIS L 1902 定量試験(統一試験方法)による。但し、洗濯方法はJIS L 0217 103号の試験方法による。(洗剤はJAFET標準洗剤を使用)

●試験結果

植 菌 数 [A]	1.5×10^4	log A 4.2
無加工布菌数 [B]	1.4×10^7	log B 7.1

(無加工布は、標準綿布を使用)

$10g B - 10g A = 2.9 > 1.5$ …… 試験は有効

殺菌活性値 = $10g A - 10g C$

静菌活性値 = $10g B - 10g C$

試 料	菌数 10g C	殺菌活性値	静菌活性値
カネカロン毛布 洗濯0回	2.3	1.9	4.8
〃 洗濯1回	3.2	1.0	3.9
〃 洗濯3回	3.3	0.9	3.8
〃 洗濯5回	3.3	0.9	3.8
〃 洗濯10回	3.0	1.2	4.1

(注) 界面活性剤(Tween80) 0.05%を添加した試験菌液を使用した。

●評価基準値

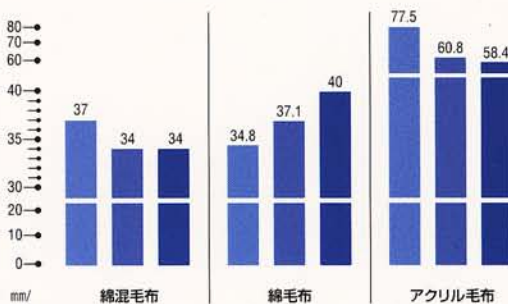
(1) 抗菌防臭加工
静菌活性値が黄色ぶどう球菌に対して、2以上

(2) 制菌加工

- ・一般用途: 殺菌活性値が0、または正の値であること
- ・特定用途: 殺菌活性値が正の値であること

※試験については、財団法人 日本紡績検査協会でのデータです。

■ 原試料
■ 洗濯、タンブラー後
■ ドライ6回後



※試験については大阪府立産業技術総合研究所でのデータです。
試験方法: 剛軟性/JIS L 1096 A法(45°カンチレバー法)

ソフト性

カネカロン毛布は天然繊維との混紡で、ナチュラルライクなテイストのソフト感をも実現しました。

カネカロンのもつ難燃性に、コットンのもつ吸湿性、ソフト性を兼ね備えた商品です。

(ナチュラルなソフト感です。)